

小説

『不夜島』

荻堂 顕 著

煙草から最新鋭の義肢まで、あらゆるものの密貿易で栄え、一攫千金の夢と欲望が渦巻く第二次世界大戦後の与那国島。一連の取引を仕切る屈指の仲介人・武庭純は、アメリカ人女性から奇妙な依頼を受ける。相棒の玉城と奔走する中、巨大な陰謀に巻き込まれて……。SFハードボイルド超大作。

趣味 実用

『実践仕掛学』

村松 真宏 著

病院の入口に設置された真実の口。手を入れると出てくるものとは？ 無意識に並んじゃう？！ レジ待ちの列を整然とするために、床に書かれたものとは？ 身近なちょっと困ったを解決する、幸せなアイデア 45 事例を紹介。世界は「仕掛け」で少しだけよくなる！！

小説

『桃太郎のユーウツ』

玄侑 宗久 著

相次ぐ自然災害や先の見えない原発事故からの復興、未知の病原体との戦い——。多くの悩みの種を抱える除染作業員・桃太郎の正体を描く表題作をはじめ、平穏な暮らしを望む我々を少しずつ蝕み、募らせた大きなユーウツの中に光明を見出す、福島在住の僧侶作家による6つの短篇寓話集。

趣味 実用

『親が心配な人の見守りテック』

和田 亜希子 著

「遠方に住んでいる親が気がかり」「住み慣れた土地から離れるのは気が進まない」など、離れて暮らす親子だからこその悩みは尽きないもの。スマホで実家の状況を確認できる“実家スマートホーム化”に取り組んだ筆者が、生活のサポートなどお互いが安心するスマホ見守りを手ほどきする。

小説

『文庫旅館で待つ本は』

名取 佐和子 著

戦前から続く^{たこや}風呂屋は、膨大な古書を蔵書する文庫が自慢の温泉旅館。なぜか本を読むことが出来ない鼻が利きすぎる若女将・丹下円が、眠れない夜を抱えるお客様に、その理由と同じにおいを纏う一冊を差し出す。訪れる人の心の揺らぎが文豪たちの名文に触れた時、見えてくるものとは。

趣味 実用

『漢方的セルフケアレシピ』

竹内 美香穂 著

頭痛と一口で言ってもこめかみがズキズキしたり、頭がガンガン痛んだりと細かな症状は違うもの。体とところの不調別に使用する漢方薬やおすすりめ食材、養生のポイントをやさしく解説しています。自分の体質を知り、自分の体とところを労わるセルフケアレシピのヒントが満載。

小説

『猿田彦の怨霊』

高田 崇史 著

猿田彦大明神——天孫降臨を導いた神、その姿から天狗ではないかと囁かれ、古事記と日本書記においても描かれ方が大きく異なるなど、その正体の謎は深い。異端の民俗学者・小余綾俊輔の推理と論証が時間と共に変容した歴史を浮かび上がらせる！ 古代史の風景が一変する謎解きミステリー。

趣味 実用

『水辺の小さな自然再生』

中川 大介 著

「生き物の豊かな川を取り戻したい」と願う浜中町の酪農家が中心となり、三郎川手作り魚道が誕生した。なぜ彼らは魚道を手作りしたのか。それは自然の環を結ぶ作業を通して人の環を結ぶ試みだった！ 東日本大震災の被災地の姿と共に、地域の力で自然を取り戻すことの意味とは何かを問う。

小説

『時の睡蓮を摘みに』

葉山 博子 著

鞠は旧弊な伯父宅での息の詰まる生活から逃れ、綿花交易を営む父のいる仏領インドシナに向かった。猛勉強の末、ハノイ大学への入学を果たし、大きな希望を抱いていたが、次第に非常なる植民地の現実に触れ……。ミステリ小説の新人賞「第13回アガサ・クリスティー賞」大賞受賞作。

趣味 実用

『字手紙レッスン』

関 紫芳 著

世界にたったひとつの字手紙を書いてみませんか？ 「おめでとう」の一言に「花」と薄墨で添えてみる。メッセージと漢字一文字をセットにしてハガキに書くのが字手紙の楽しみ方です。小筆のレッスンから、伝えたい言葉を引き立てる漢字一文字の見つけ方など言葉のセンス磨きにも◎。